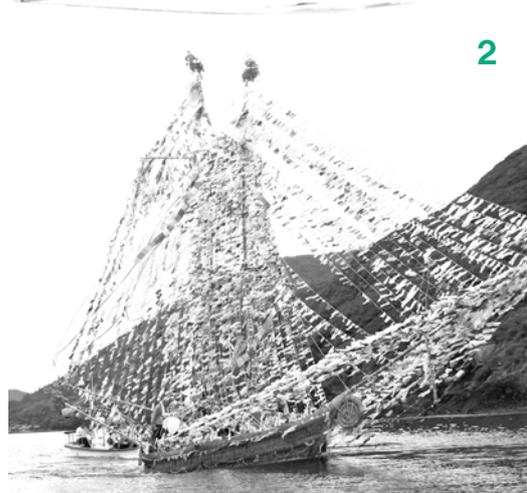




隠岐ユネスコ世界ジオパークとは

私たちが生活している中で見ることが出来る石や化石からは、隠岐が大陸だったり、湖の底や海の底だったり、火山活動で隆起して島ができたり、また氷河期で島が本土と陸続きになったりして今に至っていることが分かります。そうしてできた隠岐には、北と南の植物が混在した不思議な生態系があります。昔から隠岐に住む人々は、この自然環境を活かした生活を送ってきました。隠岐の大地と生態系と人の営みのつながりは、今も残る歴史、文化などから知ることが出来ます。



大地・生態系・人の営みのつながりが分かるもの

西ノ島にあるもので例えると、由良比女神社のイカ寄せの浜の伝説や国賀や鬼舞で見られる放牧風景と石垣、焼火神社の信仰、隠岐鮑についての木簡もかんなどから、「大地」・「生態系」・「人の営み」が繋がっているのがわかります。

1. 隠岐島前神楽 2. 精霊船 3. 放牧風景 (摩天崖) 4. 火山の噴火で出来た岩が波の浸食で崩れた様子 (国賀海岸)
5. 焼火神社 6. 庭の舞 (日吉神社) 7. 牧畑の石垣 (鬼舞) 8. 日本海の風浪に削り取られ奇岩、洞窟が多数点在します



隠岐がユネスコ世界ジオパークに認定され何が変わったのか

国内外で宣伝

隠岐全体が、マスコミや雑誌で取り上げられることが多くなりました。特に海外の旅行ガイドブックのオンラインプラネット、フランスのブルーガイドジャパンなどに紹介され、フランスを中心にヨーロッパからの外国人旅行者が増えています。



▶ 世界的にも有名なオンラインプラネット(上)。ブルーガイドジャパン(下)では最も評価の高い三つ星を獲得しています。

ジオパークについて学ぶ機会が増えました

- ・学校や集会所など色々な場所で講座が開催されています。
- ・小中学校では、子ども達が考えたジオパークに関するメニューを給食にしました。
- ・ジオパークについて勉強したガイドさんが観光案内しています。



▶ (上) 西ノ島ふるさと案内人による観光案内
(下) 子どもたちが考え、実際に作られたジオ給食。パンはサザエの形を表現し、材料は隠岐で取れる食材の海士の塩やとびうお、岩のりを使用しています。



住民の方にこそ知ってほしい

今年日本ジオパーク、来年はユネスコ世界ジオパークの再審査があります。世界に認定されることも大切ですが、住んでいる皆さんにそれだけの価値がある場所であることを気づいて欲しいという想いがあります。

西ノ島でしかできないこと、見られないものは沢山ありますが、皆さん気づいていますか？まだ見たことのないもの、体験したことのないこと、食べたことのないものが意外とあるかもしれません。それが何か分らないとき、外国の方やインターンで島に来られた方にたずねてみると、意外な答えが返ってくるかもしれません。



隠岐ユネスコ世界ジオパークを楽しもう！

ジオフリーパー

隠岐4島の方がそれぞれ遊びや食べ物などを紹介しています。問 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

西ノ島の花マップ

花マップ片手に散策に出かけてみては。人と植物の間わりについても紹介しています。問 西ノ島観光協会

フォトコンテスト

西ノ島町観光協会の「西ノ島カレンダーフォトコンテスト」や隠岐観光協会主催の隠岐ユネスコ世界ジオパークフォトコンテストなど様々なフォトコンテストがあります。自分のお気に入りの場所やものを写真に撮り、コンテストに応募してみませんか。

島内のイベント

いつでも行ける場所にはなかなか行かないものですが、夕日カフェなどちょっとしたイベントに参加してみると、予想しなかった感動に出会えることがあります。

珍しい渡り鳥

隠岐は、日本と大陸の間を行き来する渡り鳥の中継地点でもあります。その為、珍しい鳥を見かけることもあります。

マリンスポーツ

ダイビングやシュノーケリング、シーカヤック、パドルボードなどで身近にジオパークを感じてみませんか。